

1 言葉の単位

② 文節と単語 文節と単語の分け方1

確認① 文節の分け方(1)

▼ 文を文節に区切るには、言葉の意味をこわさず発音が不自然にならないようにできるだけ短く区切る。

▼ 文節に区切るには、「ネ・サ・ヨ」などを入れてみるとよい。

例 今日(1)はネ／友達(2)にネ／手紙(3)をネ／書く。(4)文節)

① 次の文に、例のように「ネ」を入れて文節に分けなさい。() は文節の数です。

例 校庭に桜が咲く。(3)

(1) 犬が走る。(2)

(2) 父と散歩をする。(3)

(3) 美しい絵がある。(3)

② 次の文の文節の切れ目に「/」を入れなさい。() は文節の数です。

(1) 庭に水をまく。(3)

(2) 新幹線で京都へ行く。(3)

(3) 先生はいつもやさしい。(3)

(4) 授業の復習を毎日行う。(4)

(5) 静かな公園で少し休む。(4)

③ 次の文の文節の切れ目に「/」を入れなさい。

(1) 僕は水が飲みたい。

(2) 母は本を読むのが好きだ。

(3) 弁当を残さずきれいに食べた。

(4) 二人で重い荷物を部屋に運ぶ。

(5) 今年の夏は意外と涼しいと思う。

確認② 文節の分け方②

複合語は1つ

▼複合語(二つ以上の語が結びついて一つになった語)は、一文節と数える。

例・部屋の／中を／走り回る。

・毎日／遅くまで／勉強する。

※複合語には、次のようなものがある。

例・押し出す(押す＋出す) ・申し込む(申す＋込む)

・薄暗い(薄い＋暗い) ・食べづらい(食べる＋づらい)

・観察する(観察＋する) ・ノックする(ノック＋する)

① 次の言葉の中で複合語を五つ○で囲みなさい。

振り回す 食べる 座る チェックする 暗い

細長い 見づらい 楽しい 注意する 大きい

② 次の文の文節の切れ目に「/」を入れなさい。()は文節の数です。

- (1) 高く舞い上がる。(2)
- (2) とても書きやすい。(2)
- (3) 夏の夜は暑苦しい。(3)
- (4) 映画を見て感動する。(3)

③ 次の文の文節の切れ目に「/」を入れなさい。

- (1) 父が弟を呼び出す。
- (2) 重苦しい空気が会議室に流れる。
- (3) 歌詞が難しいので歌いにくい。
- (4) 目前に広がる風景をスケッチする。

確認③ 文節の分け方③

「ない」の識別

▼「ない」の付いた言葉には、二文節に分けられるものと一文節のものがある。二文節か一文節かを見分けるには、「ない」の前に「は」を入れてみる。

① 「は」を入れて意味が通じるものは二文節。 **形容詞の「ない」**

例・少なくない ↓ 少くは／ない ○

・ 楽でない ↓ 楽では／ない ○ (二文節)

② 「は」を入れて意味が通じないものは一文節。 **助動詞の「ない」**

例・行かない ↓ 行かはない ×

・ 読まない ↓ 読まはない × (一文節)

① 次の□から二文節に区切られるものを四つ選び、例のように「は」と「／」を入れて区切りなさい。

静かでない 飲まない よくない 見ない
行かない できない 悔しくない 確実でない

例 多くない 「多くは／ない」

・	・	・	・

② 次の文の文節の切れ目に「／」を入れなさい。() は文節の数です。

- (1) あまり大きくない。(3)
- (2) 部屋はきれいでない。(3)
- (3) プールの水が冷たくない。(4)
- (4) 君の手伝いは必要でない。(4)

③ 次の文の文節の切れ目に「／」を入れなさい。

- (1) 友達の努力は決してむだでない。
- (2) 距離が近くないので疲れた。
- (3) 彼が来ないからおもしろくない。
- (4) 元気でない理由がわからない。
- (5) 魚が釣れないのは珍しい。

1 言葉の単位

② 文節と単語 文節と単語の分け方2

確認① 文節の分け方(4) うるう

助詞の「て」「で」「に」がわかる

▼「うらうら」「うらう」「うら」の形という言葉は二文節に分ける。

例 行つて／くる 聞いて／みる 読んで／まらう

※ 「うほが」「うら」(わ)「うらう」「うら」(わ)「おん」「うら」(わ)「ん」

① 次の言葉の中で、二文節に分けられるものを五つ〇で囲みなさい。

帰ってくる 受ける 読んでみる 拾い上げる 助ける

買っておく 笑っている 走り出す 教えてやる

② 次の文の文節の切れ目に「／」を入れなさい。()は文節の数です。

(1) 道を聞いてみる。(3)

(2) 牛乳を飲んでいる。(3)

(3) 飛んでくるのは鳥だ。(3)

③ 次の文の文節の切れ目に「／」を入れなさい。

(1) 美容院で髪を切ってもらう。

(2) 母が弁当を作ってくれる。

(3) いとはは北海道に住んでいる。

(4) かきあげた絵を飾っておく。

確認② 単語の分け方(1) 自立語と付属語

▼ 単語には次の二種類がある。

自立語…それだけで文節を作ることができる単語。また、文節の初めに「ん」
が付くことができる単語。 () の単語

付属語…それだけでは文節を作ることができず、必ず自立語のあとに付いて
意味を付け加える単語。 () の単語

例 池 () / 大きな () 魚 () / か () / 泳ぐ ()

※「大きな」「泳ぐ」はそれだけで文節を作っている自立語。「池」「魚」は文節の初めにある自立語。「で」「が」は、自立語のあとに付いて意味を付け加えている付属語。

◆ 次の文の単語を、A自立語、B付属語に分けて書きなさい。

〈近所／の／図書館／に／行く〉

A () () () ()
B () () () ()

確認③ 単語の分け方(2) 文節に分けてから単語に分ける

▼ 文を単語に分けるときは、次の順序で行うとよい。

① まず、文を文節に分ける。

例 公園の／池で／魚が／泳ぐ。

② 自立語 () の単語 () と付属語 () の単語 () に分ける。

例 公園 () / の () / 池 () / で () / 魚 () / が () / 泳ぐ ()

① 次の文の単語の切れ目に「/」を入れなさい。() は単語の数です。

- (1) 空が明るい。(3)
- (2) バスから降りる。(3)
- (3) 数学の問題を解く。(5)
- (4) 玄関でコートを脱ぐ。(5)

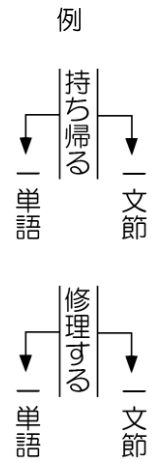
② 次の文の単語の切れ目に「/」を入れなさい。() は単語の数です。

- (1) 定規で線の長さを測る。(7)
- (2) 僕はいつとも同じ時間に起きる。(7)
- (3) 星がきらきらと光を放つ。(6)
- (4) 赤ちゃんの手はとてかわい。(6)

確認④ 単語の分け方(3)

複合語

複合語は、一文節一単語と数える。



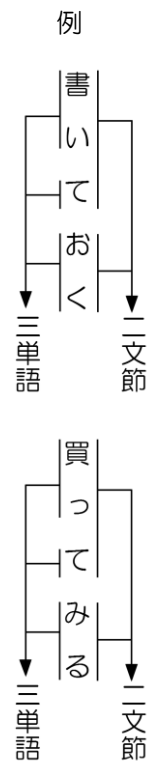
◆ 次のア・イのうち、一単語であるほうに○をつけなさい。

- (1) ア () 持ち帰る イ () 荷物を持つ
- (2) ア () 経験する イ () 経験をする
- (3) ア () 運転をする イ () 運転する
- (4) ア () 走り去る イ () 道路を走る

確認⑤ 単語の分け方(4)

助詞の「て」「で」で区切れる

▼「〜て(で)〜」の形の言葉は、一文節三単語と数える。



① 次の言葉を「」で三つの単語に分けなさい。

- (1) 乗せてあげる
- (2) 変わっていく
- (3) 読んでもらう

② 次の文を「」で単語に分けなさい。

- (1) 弟に竹とんぼを作ってやる。(7)
- (2) 合格を目標に頑張ってみる。(7)
- (3) 世界の人口が増え続けている。(7)

練習問題1

1 次の文で、文節に区切つてあるものにはA、単語に分けてあるものにはBと、記号で答えなさい。

- (1) 毎年／家の／庭で／アジサイの／花が／きれいに／さく。 () ()
- (2) 毎朝／ぼく／は／自転車／で／学校／へ／行く。 () ()
- (3) 明日は／きっと／すばらしい／天気／になる。 () ()
- (4) バス／は／九時／に／出発する。 () ()
- (5) 今日／から夏休み／だ。 () ()
- (6) どこまでも／続く／道を／行く。 () ()
- (7) ぼく／の／妹／は／性格が／おだやかだ。 () ()
- (8) 朝／の／冷たい／空気／は／気持ち／が／いい。 () ()
- (9) 自転車が／欲しいけれど／お金が／ない。 () ()
- (10) 歌が／下手なので／カラオケには／行かない。 () ()

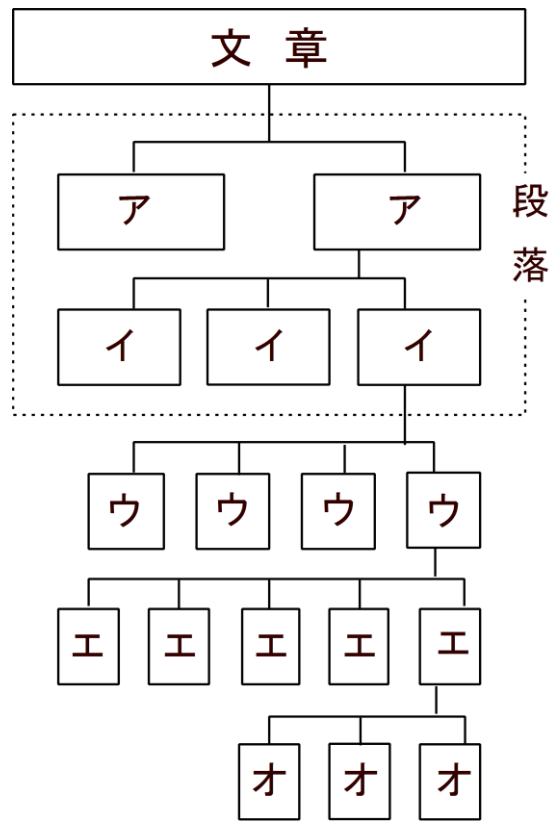
2

次の文は、いくつの文節からできていますか。数字で答えなさい。

- (1) 犬がほえる。 () ()
- (2) 白い花と赤い花がさく。 () ()
- (3) みんなの前で発表する。 () ()
- (4) わたしの部屋はとても静かだ。 () ()
- (5) 大人も子どもも老人もいる。 () ()
- (6) 明日はきっと晴れる。 () ()
- (7) 今日は国語のテストがある。 () ()
- (8) いつもの公園で弟や妹と楽しく遊ぶ。 () ()

練習問題2

1 次の図のア～オに当てはまる語句を、あとから選んで答えなさい。



単語 文 文節 形式段落 意味段落

ア ()
 イ ()
 ウ ()
 エ ()
 オ ()

2 次の文で、単語の分け方として、正しいものには○、間違っているものには×を付けなさい。

- (1) 母 と 姉 は とても やさしい。 ()
- (2) 明日は 早めに 学校へ 行く。 ()
- (3) 今日 は 楽しい 旅行 です。 ()
- (4) 夜おそく まで 勉強 する。 ()

③ 次の文を、例にならって―線で文節に区切り、さらに／線で単語に分けなさい。

例 父と／買い物に／出かける。

- (1) みんなでダンスをおどる。
- (2) 夕日が西の空を赤くそめる。
- (3) 遠くからひと目で彼とわかる。
- (4) 静かな音楽を聴くと気分がいい。

④ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

※甲府から帰って来ると、やはり、呼吸ができなくらいにひどく肩が凝っているのを覚えた。

「いいねえ、おばさん。やつぱし御坂は、いいよ。自分のうちに帰って来たよう
な気さえするのだ。」

夕食後、おかみさんと、娘さんと、交わる交わる、私の肩をたたいてくれる。
おかみさんの拳は固く、鋭い。娘さんのこぶしは柔らかく、あまり効きめがな
い。もつと強く、もつと強くと私に言われて、娘さんは薪を持ち出し、それでもつ
て私の肩をとんと叩いた。それ程にしてみらわなければ、私の凝りがとれない
ほど、私は甲府で緊張し、一心に努めたのである。

※甲府・御坂Ⅱどちらも山梨県の地名

(太宰治「富嶽百景」)

(1) ――線部「たたいてくれる」の文節と単語の切れ目にそれぞれ「/」を入れ
なさい。

(文節) たたいてくれる

(単語) たたいてくれる

(2) ……線①～④のうち、この部分だけで一つの文節となっているものはどれで
すか。記号で答えなさい。

()

1 言葉の単位

テスト

① 次の各組から文節と単語に正しく分けられているものをそれぞれ選び、記号で

答えなさい。

(1)

- ア 今日のできごとを／日記に記す。
イ 今日のできごとを／日記に／記す。
ウ 今日のできごと／を／日記／に／記す。
エ 今日のできごと／を／日記／に／記す。
オ 今日／日／の／でき／ごと／を／日／記／に／記す。

文節： () 単語： ()

(2)

- ア 赤い屋根に／小鳥が／とまっている。
イ 赤い／屋根に／小鳥が／とまっている。
ウ 赤い／屋根に／小鳥が／とまって／いる。
エ 赤い／屋根／に／小鳥／が／とまって／いる。
オ 赤い／屋根／に／小鳥／が／とまっ／て／いる。

文節： () 単語： ()

(3)

- ア 妹は／本を読むことが／好きだ。
イ 妹は／本を／読むことが／好きだ。
ウ 妹は／本を／読む／ことが／好きだ。
エ 妹／は／本／を／読む／こと／が／好きだ。
オ 妹／は／本／を／読／む／こと／が／好きだ。

文節： () 単語： ()

②

次の文の文節と単語の切れ目にそれぞれ「/」を入れなさい。

(1)

(文節) 暑 い から 帽 子 を かぶる。
(単語) 暑 い から 帽 子 を かぶる。

(2)

(文節) 子 ど も が プールへ飛びこむ。
(単語) 子 ど も が プールへ飛びこむ。

(3)

(文節) 僕 の 絵 を 見 ても らう。
(単語) 僕 の 絵 を 見 ても らう。

(4)

(文節) 庭 に 赤 い 花 が さく。
(単語) 庭 に 赤 い 花 が さく。

(5)

(文節) 数 学 の テ ス ト の 勉 強 を す る。
(単語) 数 学 の テ ス ト の 勉 強 を す る。

(6)

(文節) お そ く ま で 勉 強 す る。
(単語) お そ く ま で 勉 強 す る。

解答

1 言葉の単位

② 文節と単語 文節と単語の分け方1

確認① 文節の分け方(1)

▼ 文を文節に区切るには、言葉の意味をこわさず発音が不自然にならないように「できる」だけ短く区切る。

▼ 文節に区切るには、「ネ・サ・ヨ」などを入れてみるとよい。

例 今日ネ／友達にネ／手紙をネ／書く。(四文節)

① 次の文に、例のように「ネ」を入れて文節に分けなさい。() は文節の数です。

例 校庭にネ桜がネ咲く。(3)

(1) 犬がネ走る。(2)

(2) 父とネ散歩をネする。(3)

(3) 美しいネ絵がネある。(3)

② 次の文の文節の切れ目に「 」を入れなさい。() は文節の数です。

(1) 庭に 水を まく。(3)

(2) 新幹線で 京都へ 行く。(3)

(3) 先生は いつも やさしい。(3)

(4) 授業の 復習を 毎日 行う。(4)

(5) 静かな 公園で 少し 休む。(4)

③ 次の文の文節の切れ目に「 」を入れなさい。

(1) 僕は 水が 飲みたい。

(2) 母は 本を 読むのが 好きだ。

(3) 弁当を 残さず きれいに 食べた。

(4) 二人で 重い 荷物を 部屋に 運ぶ。

(5) 今年の 夏は 意外と 涼 しいと 思う。

確認② 文節の分け方②

▼ 複合語(二つ以上の語が結びついて一つになった語)は、一文節と数える。

例・部屋の中を走り回る。

・毎日遅くまで勉強する。

※複合語には、次のようなものがある。

例・押し出す(押す+出す) ・申し込む(申す+込む)

・薄暗い(薄い+暗い) ・食べづらい(食べる+づらい)

・観察する(観察+する) ・ノックする(ノック+する)

1 次の言葉の中で複合語を五つ○で囲みなさい。

振り回す

食べる

座る

チェックする

暗い

細長い

見づらい

楽しい

注意する

大きい

2 次の文の文節の切れ目に「/」を入れなさい。()は文節の数です。

- (1) 高く / 舞い上がる。(2)
- (2) とても / 書きやすい。(2)
- (3) 夏の / 夜は / 暑苦しい。(3)
- (4) 映画を / 見て / 感動する。(3)

3 次の文の文節の切れ目に「/」を入れなさい。

- (1) 父が / 弟を / 呼び出す。
- (2) 重苦しい / 空気が / 会議室に / 流れる。
- (3) 歌詞が / 難しいので / 歌いにくい。
- (4) 目前に / 広がる / 風景を / スケッチする。

確認③ 文節の分け方③

▼「ない」の付いた言葉には、二文節に分けられるものと一文節のものがある。二文節か一文節かを見分けるには、「ない」の前に「は」を入れてみる。

① 「は」を入れて意味が通じるものは二文節。

例・少なくない ↓ 少なくは / ない ○

・ 楽でない ↓ 楽では / ない ○ (二文節)

② 「は」を入れて意味が通じないものは一文節。

例・行かない ↓ 行か / はない ×

・ 読まない ↓ 読ま / はない × (一文節)

① 次の□から二文節に区切られるものを四つ選び、例のように「は」と「」を入れて区切りなさい。

静かでない 飲まない よくない 見ない
行かない できない 悔しくない 確実にない

例 多くない 「多くは / ない」

静かでは / ない

よくは / ない

悔しくは / ない

確実にでは / ない

② 次の文の文節の切れ目に「」を入れてなさい。() は文節の数です。

(1) あまり / 大きく / ない。(3)

(2) 部屋は / きれいで / ない。(3)

(3) プールの / 水が / 冷たく / ない。(4)

(4) 君の / 手伝いは / 必要で / ない。(4)

③ 次の文の文節の切れ目に「」を入れてなさい。

(1) 友達の / 努力は / 決して / むだで / ない。

(2) 距離が / 近く / ないので / 疲れた。

(3) 彼が / 来ないから / おもしろく / ない。

(4) 元気で / ない理由が / わからない。

(5) 魚が / 釣れないのは / 珍しく / ない。

1 言葉の単位

② 文節と単語 文節と単語の分け方2

確認① 文節の分け方(4)

▼「いて「いて」「いて」「いて」の形の言葉は二文節に分ける。

例 行って／くる 聞いて／みる 読んで／もらう

※ 「いのほか、「いて」「いて」「いて」「いて」「いて」「いて」「いて」「いて」「いて」などがある。

① 次の言葉の中で、二文節に分けられるものを五つ〇で囲みなさい。

帰ってくる

受ける

読んでみる

拾い上げる

助ける

買っておく

笑っている

走り出す

教えてやる

② 次の文の文節の切れ目に「／」を入れなさい。() は文節の数です。

(1) 道を／聞いて／みる。(3)

(2) 牛乳を／飲んで／いる。(3)

(3) 飛んで／くるのは／鳥だ。(3)

③ 次の文の文節の切れ目に「／」を入れなさい。

(1) 美容院で／髪を／切って／もらう。

(2) 母が／弁当を／作って／くれる。

(3) いとこは／北海道に／住んで／いる。

(4) かきあげた／絵を／飾って／おく。

確認② 単語の分け方(1)

▼ 単語には次の二種類がある。

自立語…それだけで文節を作ることができる単語。また、文節の初めにいることができる単語。の単語

付属語…それだけでは文節を作ることができず、必ず自立語のあとに付いて意味を付け加える単語。(○)の単語

例 池 大きな魚 か 泳ぐ

※「大きな」「泳ぐ」はそれだけで文節を作っている自立語。「池」「魚」は文節の初めにある自立語。「で」「が」は、自立語のあとに付いて意味を付け加えている付属語。

◆ 次の文の単語を、A自立語、B付属語に分けて書きなさい。

〈近所／の／図書館／に／行く〉

A () **近所** () () **図書館** () () **行く** ()
 B () **の** () () **に** () ()

確認③ 単語の分け方(2)

▼ 文を単語に分けるときは、次の順序で行うとよい。

① まず、文を文節に分ける。

例 公園の／池で／魚が／泳ぐ。

② 自立語の単語()と付属語(○)の単語()に分ける。

例 公園 の 池 で 魚 が 泳ぐ

① 次の文の単語の切れ目に「/」を入れなさい。() は単語の数です。

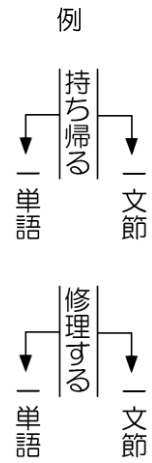
- (1) 空 が 明 る い。(3)
- (2) バス から 降 り る。(3)
- (3) 数学 の 問 題 を 解 く。(5)
- (4) 玄 関 で コ ー ト を 脱 ぐ。(5)

② 次の文の単語の切れ目に「/」を入れなさい。() は単語の数です。

- (1) 定 規 で 線 の 長 さ を 測 る。(7)
- (2) 僕 は い つ も 同 じ 時 間 に 起 き る。(7)
- (3) 星 が き ら き ら と 光 を 放 つ。(6)
- (4) 赤 ち ゃ ん の 手 は と て も か わ い い。(6)

確認④ 単語の分け方(3)

複合語は、一文節一単語と数える。

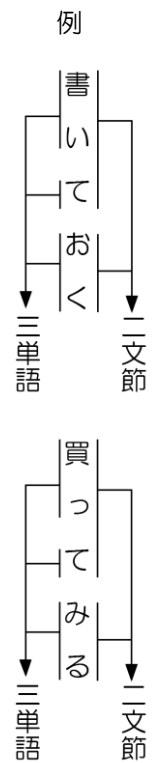


◆ 次のア・イのうち、一単語であるほうに○をつけなさい。

- (1) ア (○) 持ち帰る イ () 荷物を持つ
- (2) ア (○) 経験する イ () 経験をする
- (3) ア () 運転をする イ (○) 運転する
- (4) ア (○) 走り去る イ () 道路を走る

確認⑤ 単語の分け方(4)

▼「くて(で)く」の形の言葉は、二文節三単語と数える。



① 次の言葉を「く」で三つの単語に分けなさい。

- (1) 乗せてあげる
- (2) 変わっていく
- (3) 読んでもらう

② 次の文を「く」で単語に分けなさい。

- (1) 弟に竹とんぼを作ってやる。(7)
- (2) 合格を目標に頑張っ
てみる。(7)
- (3) 世界の人口が増え続け
ている。(7)

練習問題1

① 次の文で、文節に区切つてあるものにはA、単語に分けてあるものにはBと、記号で答えなさい。

- | | | | | |
|------|----------------------------|---|---|---|
| (1) | 毎年／家の／庭で／アジサイの／花が／きれいに／さく。 | (| A |) |
| (2) | 毎朝／ぼく／は／自転車／で／学校／へ／行く。 | (| B |) |
| (3) | 明日は／きっと／すばらしい／天気／になる。 | (| A |) |
| (4) | バス／は／九時／に／出発する。 | (| B |) |
| (5) | 今日／から夏休み／だ。 | (| B |) |
| (6) | どこまでも／続く／道を／行く。 | (| A |) |
| (7) | ぼく／の／妹／は／性格が／おだやかだ。 | (| B |) |
| (8) | 朝／の／冷たい／空気／は／気持ち／が／いい。 | (| B |) |
| (9) | 自転車／が／欲しいけれど／お金／が／ない。 | (| A |) |
| (10) | 歌が／下手なので／カラオケには／行かない。 | (| A |) |

解説

文節に区切つてある(1)・(3)・(6)・(9)・(10)は、間に「ネ」「サ」「ニ」などを入れて読んでも、発音上不自然な感じがしない。
 (2)「毎朝」は、これで一つの単語。
 (4)「九時」「出発する」は、それぞれ一つの単語。
 (5)「夏休みだ」は、「夏休みな」とすると不自然なので、二つの単語に分けられる。
 (7)「おだやかだ」は、「おだやかな」としても自然なので、これ以上分けられない一つの単語。

②

次の文は、いくつの文節からできていますか。数字で答えなさい。

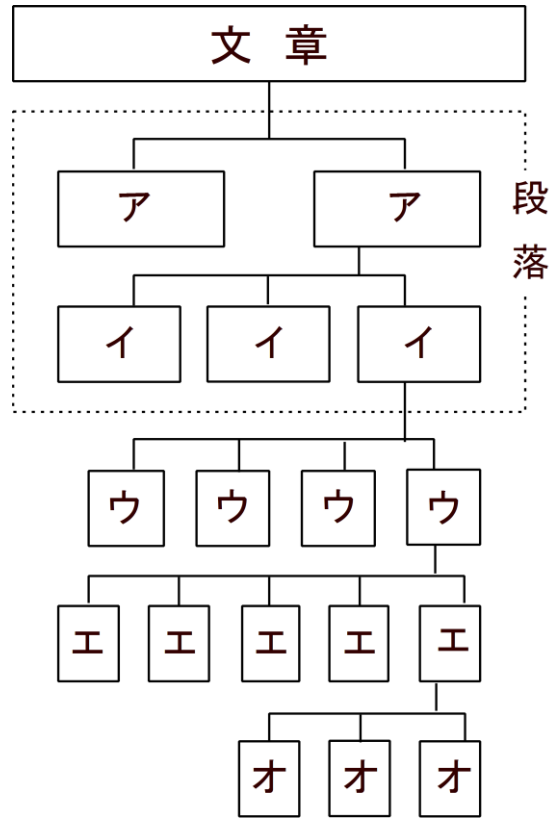
- | | | | | |
|-----|-------------------|---|---|---|
| (1) | 犬がほえる。 | (| 2 |) |
| (2) | 白い花と赤い花がさく。 | (| 5 |) |
| (3) | みんなの前で発表する。 | (| 3 |) |
| (4) | わたしの部屋はとても静かだ。 | (| 4 |) |
| (5) | 大人も子どもも老人もいる。 | (| 4 |) |
| (6) | 明日はきっと晴れる。 | (| 3 |) |
| (7) | 今日は国語のテストがある。 | (| 4 |) |
| (8) | いつもの公園で弟や妹と楽しく遊ぶ。 | (| 6 |) |

解説

次のように文節に区切れる。
 (1) 犬が／ほえる。
 (2) 白い／花と一赤い／花が一さく。
 (3) みんなの／前で／発表する。
 (4) わたしの／部屋は／とても／静かだ。
 (5) 大人も／子どもも／老人も／いる。
 (6) 明日は／きっと／晴れる。
 (7) 今日は／国語の／テストが／ある。
 (8) いつもの／公園で／弟や／妹と／楽しく／遊ぶ。

練習問題2

① 次の図のア～オに当てはまる語句を、あとから選んで答えなさい。



- ア (**意味段落**) イ (**形式段落**) ウ (**文**)
 エ (**文節**) オ (**単語**)

単語 文 文節 形式段落 意味段落

解説

オからアと、下から上に行くにしたがって、大きなまとまりになる。形式段階が一つまたは二つ以上集まって意味段落を形成するから、イが形式段落、アが意味段落。また、ウの文がまとまると段落になる。

② 次の文で、単語の分け方として、正しいものには○、間違っているものには×を付けなさい。

- (1) 母と姉はとてもやさしい。 ()
 (2) 明日は早めに学校へ行く。 ()
 (3) 今日は楽しい旅行です。 ()
 (4) 夜おそくまで勉強する。 ()

解説

(2) は文節で区切っている。正しく単語に分けると、次のようになる。
 (2) 明日は早めに学校へ行く。
 (4) 夜おそくまで勉強する。

③ 次の文を、例にならって一線で文節に区切り、さらに一線で単語に分けなさい。

例 父と／買い物に／出かける。

- (1) みんなで／ダンスを／おどる。
 (2) 夕日が／西の／空を／赤く／そめる。
 (3) 遠くから／ひと目で／彼と／わかる。
 (4) 静かな／音楽を／聴くと／気分が／いい。

解説

まず文節に区切ってから、さらに単語に分けなさい。

(2) 「赤く」「そめる」は分けず。

(3) 「静かな」は、これで一単語。

④ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

※甲府から帰って来ると、やはり、呼吸ができなくらいにひどく肩が凝っているのを覚えた。

「いいねえ、おばさん。やつぱし御坂は、いいよ。自分のうちに帰って来たよう
 な気さえするのだ。」

夕食後、おかみさんと、娘さんと、交わる交わる、私の肩をたたいてくれる。
 おかみさんの拳は固く、鋭い。娘さんのこぶしは柔らかく、あまり効きめがない。
 もっと強く、もっと強くと私に言われて、娘さんは薪を持ち出し、それでもつ
 て私の肩をとんとん叩いた。それ程にしてみらわなければ、私の凝りがとれない
 ほど、私は甲府で緊張し、一心に努めたのである。

※甲府・御坂Ⅱどちらも山梨県の地名

(太宰治「富嶽百景」)

(1) ——線部「たたいてくれる」の文節と単語の切れ目にそれぞれ「/」を入れなさい。

(文節) たたいて / くれる

(単語) た / た / い / て / くれ / れる

(2) ……線①～④のうち、この部分だけで一つの文節となっているものはどれですか。記号で答えなさい。

() (b) ()

1 言葉の単位

テスト

① 次の各組から文節と単語に正しく分けられているものをそれぞれ選び、記号で

答えなさい。

(1)

- ア 今日のできごとを／日記に記す。
イ 今日のできごとを／日記に／記す。
ウ 今日のできごと／を／日記／に／記す。
エ 今日のできごと／を／日記／に／記す。
オ 今日／の／でき／ごと／を／日記／に／記す。

文節：(**イ**) 単語：(**ウ**)

(2)

- ア 赤い屋根に／小鳥が／とまっている。
イ 赤い／屋根に／小鳥が／とまっている。
ウ 赤い／屋根に／小鳥が／とまって／いる。
エ 赤い／屋根／に／小鳥／が／とまって／いる。
オ 赤い／屋根／に／小鳥／が／とまっ／て／いる。

文節：(**ウ**) 単語：(**オ**)

(3)

- ア 妹は／本を読むことが／好きだ。
イ 妹は／本を／読むことが／好きだ。
ウ 妹は／本を／読む／ことが／好きだ。
エ 妹／は／本／を／読む／こと／が／好きだ。
オ 妹／は／本／を／読む／む／こと／が／好きだ。

文節：(**ウ**) 単語：(**エ**)

②

次の文の文節と単語の切れ目にそれぞれ「/」を入れなさい。

(1)

(文節) 暑いから帽子をかぶる。
(単語) 暑いから帽子をかぶる。

(2)

(文節) 子どもがプールへ飛びこむ。
(単語) 子どもがプールへ飛びこむ。

(3)

(文節) 僕の絵を見てもらう。
(単語) 僕の絵を見てもらう。

(4)

(文節) 庭に赤い花がさく。
(単語) 庭に赤い花がさく。

(5)

(文節) 数学のテストの勉強をする。
(単語) 数学のテストの勉強をする。

(6)

(文節) おそくまで勉強する。
(単語) おそくまで勉強する。